

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2012. 7. 10)

-2012年4～6月期実績と2012年7～9月期及び2012年10～12月期予想-

京 都 商 工 会 議 所
担当：中小企業経営支援センター
電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

業況は大企業で改善も中小企業は厳しく
～夏季は慎重な見方、年末に向けては明るさも～

概 要

国内景気動向、自社業況とも大企業が回復基調にある中、中小企業では下降幅こそ縮小したものの引き続き厳しい結果となった。特に建設業が深刻な様相を呈しており、欧州金融不安の再燃から円高の影響を受けやすい電機・精密機械製造や機械金属卸などの業種が落ち込んだ。先行きは、電力需給に不安を抱える夏季は慎重な見方が続くが、需要期を迎える秋から年末にかけては中小企業でも回復に向かう見通しとなっている。

(注) 5月下旬から6月上旬にかけ同調査を実施し、596社中488社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。また4～6月期のBSI値は、1～3月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

4～6月期のBSI値は、▲2.0(前期実績▲9.2)と、下降幅が縮小した。今後の7～9月期は▲4.5と下降幅が再び拡大するものの、続く10～12月期は5.3と上昇を見込んでいる。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 4～6月期のBSI値は▲4.0(前期実績▲12.0)と下降幅が縮小した。今後の7～9月期は▲4.1と引き続き下降し、続く10～12月期は8.3と上昇する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 4～6月期のBSI値は、▲4.1(前期実績▲11.7)と減少幅が縮小した。業種別では旅館・ホテル(29.6)、運輸・倉庫業(20.4)などで増加、鉄鋼(▲25.0)、機械金属卸(▲25.0)、建設業(▲23.6)で減少し、業種間で差が見られた。規模別では中小企業(▲5.2)で減少幅が大幅に縮小した。今後の7～9月期は▲2.9と減少が続き、続く10～12月期は11.2と大幅な増加を見込む。
2. 製・商品・サービス・請負価格 4～6月期のBSI値は、▲3.4(前期実績▲7.3)と下降した。業種別では旅館・ホテル(11.4)、木材・木製品製造(5.0)などで上昇、鉄鋼(▲14.3)、繊維製造(▲13.9)、建設業(▲12.9)などで下降し、業種間で差が見られた。今後の7～9月期は▲3.8、10～12月期は▲0.4と引き続き下降を予想している。
3. 経常利益 4～6月期のBSI値は、▲7.5(前期実績▲13.5)と減少が続いた。今後の見通しについて規模別に見てみると、7～9月期は大企業が増加に転じ、中小企業は引き続き減少、続く10～12月期は、大企業、中小企業とも増加の見込み。
4. 所定外労働時間 4～6月期のBSI値は、▲2.9(前期実績▲6.3)と減少が続いた。今後の見通しについて規模別に見てみると、7～9月期は、大企業は横ばい、中小企業(▲4.4)は減少が続き、10～12月期は大企業、中小企業も増加に転じる見通し。

5. 製・商品在庫 4～6月期は、「適正」とする企業が81.0%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見てみると、繊維卸や繊維製造、窯業・土石で過剰感が見られ、鉄鋼では不足感が見られた。今後は、繊維関係や窯業・土石で過剰感が残るものの、全体としては概ね適正水準で推移する見通しとなっている。

6. 資金繰り 4～6月期のBSI値は、▲2.6（前期実績▲5.2）と幾分悪化した。今後の見通しについて規模別にみると、大企業では改善を見込むのに対し、中小企業では悪化を予想しており、規模間で差が見られる。

Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」（55.5%）が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」（32.4%）、3位に「製・商品（請負）価格安」（29.1%）、第4位に「原材（燃）料高」（23.0%）、第5位に「人件費負担増大」（13.1%）が続いた。

Ⅳ 雇用人員と設備投資計画（年1回6月時点調査で実施）

■雇用人員

2012年4～6月期の雇用人員は、「増加」14.6%、「減少」17.1%、BSI値▲1.3（前年同期▲3.3）とわずかに減少となった。

業種別 料理・飲食（11.6）、非鉄（10.9）、一般機械製造（8.3）、運輸・倉庫業（6.9）などの業種で増加、建設業（▲14.7）、繊維製造（同▲13.9）、繊維製品製造（▲12.5）、窯業・土石（▲12.5）、その他製造業（▲12.5）などの業種で減少した。

規模別 大企業（BSI値1.1）では増加に転じたが、中小企業（▲2.2）は減少した。

■設備投資計画

2012年度の設備投資計画は「増額」とする企業14.3%、「減額」とする企業17.5%でBSI値は▲1.6（前年度▲2.6）となり、わずかに減額となった。

業種別 非鉄（15.2）、運輸・倉庫業（9.0）、不動産業（7.7）などの業種で増加、窯業・土石（▲20.9）、鉄鋼（▲14.3）、その他製造業（▲12.5）、建設業（▲12.2）などの業種で減額となっている。

規模別 大企業はBSI値2.2（前年度▲0.7）と増額に転じたが、中小企業は▲3.1（前年度▲3.5）と引き続き減額となっている。

国内景気		実績			予想					
		2012年4～6月期			2012年7～9月期			2012年10～12月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲ 2.0	19.1	23.1	▲ 4.5	14.0	23.0	5.3	24.4	13.8
規模別	大企業	6.6	26.1	13.0	1.5	16.7	13.7	6.3	23.5	11.0
	中小企業	▲ 5.3	16.4	27.0	▲ 6.9	13.0	26.8	4.9	24.8	15.0
業種別	製造業	▲ 2.6	16.5	21.7	▲ 5.5	13.3	24.2	5.1	23.5	13.3
	卸売業	▲ 2.6	19.0	24.1	2.6	20.7	15.5	11.2	31.0	8.6
	小売業	▲ 2.2	21.7	26.1	▲ 8.7	8.7	26.1	▲ 6.6	13.0	26.1
	建設業	▲ 20.6	5.9	47.1	▲ 16.2	5.9	38.2	▲ 1.5	20.6	23.5
	不動産業	15.4	38.5	7.7	3.9	23.1	15.4	7.7	23.1	7.7
	運輸・倉庫業	8.7	34.5	17.2	1.8	20.7	17.2	5.2	24.1	13.7
	サービス業	1.9	23.8	20.0	▲ 4.4	12.5	21.3	7.6	27.8	12.7

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2012年4～6月期			2012年7～9月期			2012年10～12月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲ 4.0	24.9	32.8	▲ 4.1	18.9	27.1	8.3	31.1	14.5
規模別	大企業	4.1	29.6	21.5	3.0	23.0	17.1	12.8	36.9	11.3
	中小企業	▲ 7.1	23.1	37.2	▲ 6.9	17.3	31.1	6.6	28.9	15.8
業種別	製造業	▲ 6.6	21.7	34.9	▲ 2.9	20.2	25.9	7.5	28.3	13.3
	卸売業	▲ 5.1	25.4	35.6	1.7	23.7	20.3	4.2	25.4	17.0
	小売業	0.1	26.1	26.0	▲ 2.2	13.0	17.4	8.7	30.4	13.0
	建設業	▲ 24.3	3.0	51.6	▲ 12.1	12.1	36.3	0.0	24.2	24.3
	不動産業	9.1	54.5	36.4	0.0	33.3	33.3	8.4	41.7	25.0
	運輸・倉庫業	12.6	33.4	8.3	▲ 6.2	16.7	29.1	20.9	45.9	4.2
	サービス業	6.5	37.2	24.3	▲ 9.7	14.1	33.4	13.7	41.6	14.3

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) × $\frac{1}{2}$